

■ サプライチェーンでの取り組み

基本的な考え方

当社では、お客様の車両を仕入れ、お客様の効率的なクルマの利用をサポートし、メンテナンス管理を行い、リース満了車両を売却するまで、自動車ディーラー、メンテナンス工場、解体業者など多くのサプライヤーと関わっています。サプライヤーに対しては、法令・規制などを遵守し、倫理的に行動するだけでなく、自動車を取り扱う会社として環境に配慮した行動を求めています。



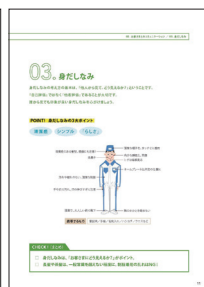
当社は、お客様へ提供するメンテナンスサービスの品質を高めるため、2018年度より「SMAS-QMS(住友三井オートサービス・クオリティ・マネジメント・システム)」を展開しています。お客様に納得いただいた上で、安心して点検整備を受けていただくため、点検前の問診と納車時の作業内容の説明を重視し、メンテナンスサービスの品質向上に努めています。

また、近年の自動車の先進技術にも対応するため、スキャンツール(自動車故障診断機)の導入を開始しました。新しい技術を搭載した車両にもいち早く適応すべく、パートナーシップとともに技術習得、向上に努めています。

サービス品質の向上に加え、サプライチェーン全体で地球環境への負荷を軽減するため、走行距離に応じた適正なタイミングでのオイル交換やタイヤ空気圧の点検チェックにより燃費改善に貢献したり、メンテナンス管理車両の故障修理時には再生部品(中古・リビルト部品)を利用することで、CO₂削減や省資源化に取り組んでいます。



『サービス向上マニュアル
メンテナンス工場のためのCS(顧客満足度)向上ガイド』



お客様にクルマのことを知ってもらうための
『SMASメンテナンスニュース』

